

昨年がバラが
今頃は百日紅が
鮮やか!

九条はらまち

福島県「はらまち九条の会」会報 No. 303
2017(平成29)年8月3日(木)発行



■ **はらまち九条の会** とは、戦争放棄の憲法第9条を護って「戦争をしない国・日本」をめざし、支持政党や主義主張を問わない自由な市民の会です。どなたでもどこに住んでおられようと会員になれます。何の拘束もなく、お気軽にご加入下さい。
■ 結成は2005年12月。会員は南相馬市原町区を中心に430名。年会費千円。
■ 3.11の大震災後、「事故の福島第一核発電所(原発)に世界一近くで活動できる南相馬市の“九条の会”」を自覚し、さらに「日本国憲法の間接的起草者・憲法学者鈴木安蔵のふるさとの“九条の会”」を誇りに活動しています。

総会報告 「戦争しない国」堅持のために

○今年度の本会「総会」は、6月18日(日)午後1時~3時30分、原ノ町駅前、中央図書館に隣接する市民情報交流センターのマルチメディアホールで開催されました。
○審議内容は、2016年1月から17年6月までの活動と会計・監査報告、17年の活動計画では、①あきいちに参加する、②成人式で、選挙に行くよう若者に訴える、③憲法の大切さを若い人に訴える、④本会のホームページを見やすいようにする、⑤護憲のチラシや会報の発行、などの意見が出ました。今年には役員改選はなく、事務局員は継続です。

■ 企画行事として、DVD「九条を抱きしめて」上映会を開催。
内容：元アメリカ海兵隊員のアレン・ネルソンさんは、貧しさゆえに海兵隊に入隊し、ベトナム戦争に派遣される。やがて、「日本国憲法9条」の素晴らしさや大切さを世界各地で訴えます。しかし、2009年ベトナム戦争の後遺症で死去。亡くなって一層、9条の訴えが注目を集めています。

会員さんより アレン・ネルソン 「九条を抱きしめて」を観て思うこと

6月18日の総会と同時に上映されたDVD『九条を抱きしめて』を観て衝撃を受けました。

人生観がまるっきり変わる程 九条の素晴らしさを どうして外国の人なのにストレートに解るんだろう。

私は九条と同年です。
九条を知っているつもりでした。

「九条は有って当たり前 永久に有るんだ」そう思っていたと 気付かされました。

「九条」 静かで 温かくて でも力強く いつも私達のそばに居て 見守ってくれていたんだ。

そんな九条に 私達は甘えて ちょっと飽きがきて 九条の深い愛情を 知ろうとしてなかった。

本当に しっかり抱きしめていなければ すぐに消えて 無くなってしまふ。

アレン・ネルソンさんの話とイラストは とても解りやすく感動しました。

もっと沢山のの人に観せたい。少人数だけでは もったいない。

子供達にも 自衛隊の人達にも ぜひ観て欲しい と思いました。

今 若い人の「住みにくさ、貧困生活」これはアメリカだけの話ではなく 日本でもひたひたとせまっている そんな気がしてなりません。

これって 誰かの陰謀?!
ぜったい 戦争はしない! させない! 先ず 若い人が そう思ってくれないと とても危険です 心配です。

(総会出席の一会員より)



▲ネルソンさん

<平田慶肇会長挨拶> 9条と平和のため 頑張りましょう

本会も発足から11年目ですが、皆様のご協力に支えられて活動してきました。さて、安倍一強でごまかしのよう政治が行われ、日本会議がその後ろ盾になっていて、改憲や国民投票になるのではと不安に思っています。その場合は、私たち九条の会が頑張る時です。9条を守り平和のためこれからもよろしくお願いたします。

安倍晋三内閣の退陣を！！

私達は憲法第9条を護り、「二度と戦争をしない、させない」として安倍政権に対して毎年5月3日憲法記念日を中心に、意見チラシを全市全戸配布をしてきました。

- 2013年 5月 3日 憲法96条改定の動きに反対
- 2014年 6月 15日 集団的自衛権の姑息な改憲に反対
- 2015年 5月 3日 集団的自衛権の姑息な改憲に反対
- 2016年 5月 3日 平和安保関連法(戦争法)の廃止を求める
- 2017年 5月 1日 テロ等準備罪(共謀罪)法制定に反対

安倍政権は憲法96条改定以外の戦争につながる法案を、秘密保護法も含めて閣議決定し、強行採決をしてきました。更に第3次安倍内閣は、南スーダンの日報隠蔽問題については「防衛大臣の辞任により責任をとったから良いのではないか」という形で幕引きを図っています。「森友」「加計」問題にしても、国民にきちんと説明する姿勢が見えません。



▲揮毫: 俳人 金子兜太氏とうた

憲法9条についても、私的な集会で、1項、2項はそのままにして3項に自衛隊を明記するなどの改憲をめざした発言をしています。

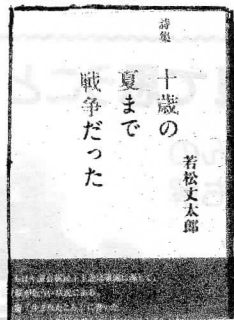
私達はこのような安倍政権に対し「許さない」という活動を進めていきたいと思います。

＜2017年8月3日 はらまち九条の会・事務局一同＞

会員さんの8月の新刊

若松丈太郎著『詩集十歳の夏まで戦争だった』

コールサック社・¥1,500+税



核発電所(原発)の稼働の頃から、原発の危険性や不安を詩や評論で訴えてきた若松さん。1994年にはチェルノブイリを訪ね、福島原発のまさかの事故を想定して詩「神隠しされた街」を発表し、3.11の事故後に予言的と大きな反響を呼びました。

新刊のこの詩集は、戦中の少年期にタイムスリップした17篇の詩で構成され、狂気の戦争の歴史をたどり、戦争を引き起こした国家権力や遂行した人々を厳しく糾弾し、一方で犠牲を強いられた民衆の悲しみを描いています。それはそのまま、原発事故でも相似形的に重なります。

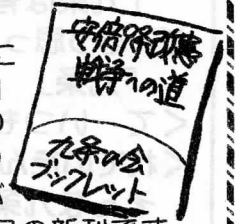
▲若松さんはこの詩集のあとがきで、「この国では、もはや議会制民主主義は壊滅に瀕して、国民主権の存続が危うい状況にある。1935年前後の状況を既視体験(デジャ・ヴュ)しているかに思えてならない」と。

(全国)九条の会の新刊

九条ブックレット「安倍9条改憲は戦争への道」

九条の会発行 ¥500

今年の憲法記念日に安倍首相が突然打ち出した、「自衛隊の9条3項加憲論」に反撃するために書かれたブックレット。6月20日の「九条の会事務局学習会」の報告をまとめています。憲法学者の浦田一郎一橋大学名誉教授と、政治学者の渡辺治同大学名誉教授が、その危険性と改憲阻止運動の方向性を論述。また「9条3項加憲」論をいち早く唱えた伊藤哲夫氏(改憲右翼団体・日本会議のメンバー)の論文抜粋、安倍首相のビデオメッセージ全文も掲載。8月15日終戦記念日の新刊です。



♪今流行しています♪

欧陽菲菲の“LOVE IS OVER”の替え歌

“ABE IS OVER”

♪ ABE IS OVER 遅すぎたけど / 終わりにしよう 切りがないから
♪ ABE IS OVER 泣くな無様だろ / 憲法のことば 早く忘れて……

インターネットで聴けます
笑ってしまいます